

創造性教育に関する書籍の出版について

▶ 出版の背景

- ・新教育基本法では、「個人の尊厳を重んじ、真理と正義を希求し、公共の精神を尊び、豊かな人間性と創造性を備えた人間の育成を期するとともに、伝統を継承し、新しい文化の創造を目指す教育を推進する」とあるように、「創造性の育成」が重点目標として挙げられている。
- ・今後、5年、10年後の国際社会を考えれば、学校教育においても「創造性の育成」は重要なキーワードとなるだろう。（「21世紀型スキル」の中でも、創造性の育成は挙げられている）
- ・しかし、現在の学校教育では、創造性教育が総合的な学習の時間の一部で扱われるのみで、教科ではほとんど実践事例が見られない。また、その成果を実証的に研究した事例も少ない。
- ・本書では、理論はもちろん、教科での実践事例や成果を掲載し、多くの学校教員や教育 NPO 関係者などに活用してもらおうと共に、大学の教科書として教育学部等で使用することを想定する。

▶ コンセプト

- ・現場の教員、教員を志望する学生、教育 NPO 等をメインターゲットとして理論と実践の構成
- ・理論編では、創造性教育がなぜ必要か、諸外国での事例なども紹介
- ・実践編では、教科での具体的な実践を紹介し、その効果を紹介
- ・教員が活用できるように「授業」と「学級づくり」における「創造技法」を紹介
- ・大学の講義での使用も想定（「創造性教育」の教科書として）

▶ タイトル案

創造性教育の理論と実践 —教科における創造性教育の実践事例とその効果—

▶ 目次案

はじめに

第一章 創造性教育がなぜ必要か

第二章 学びと創り

第三章 創造性をのばすほめ方

第四章 授業における創造性教育の効果

第五章 創造性教育の実践事例 国語

創造性教育の実践事例 算数

創造性教育の実践事例 理科

創造性教育の実践事例 社会

創造性教育の実践事例 総合（環境教育）

創造性教育の実践事例 総合的学習・特別活動

第六章 授業・学級づくりで使える創造技法

おわりに

▶ 執筆者案

弓野憲一（静岡大学名誉教授／日本創造学会 会長）

塩田真吾（静岡大学教育学部 講師）

その他，現場で創造性教育を実践している小学校教員など